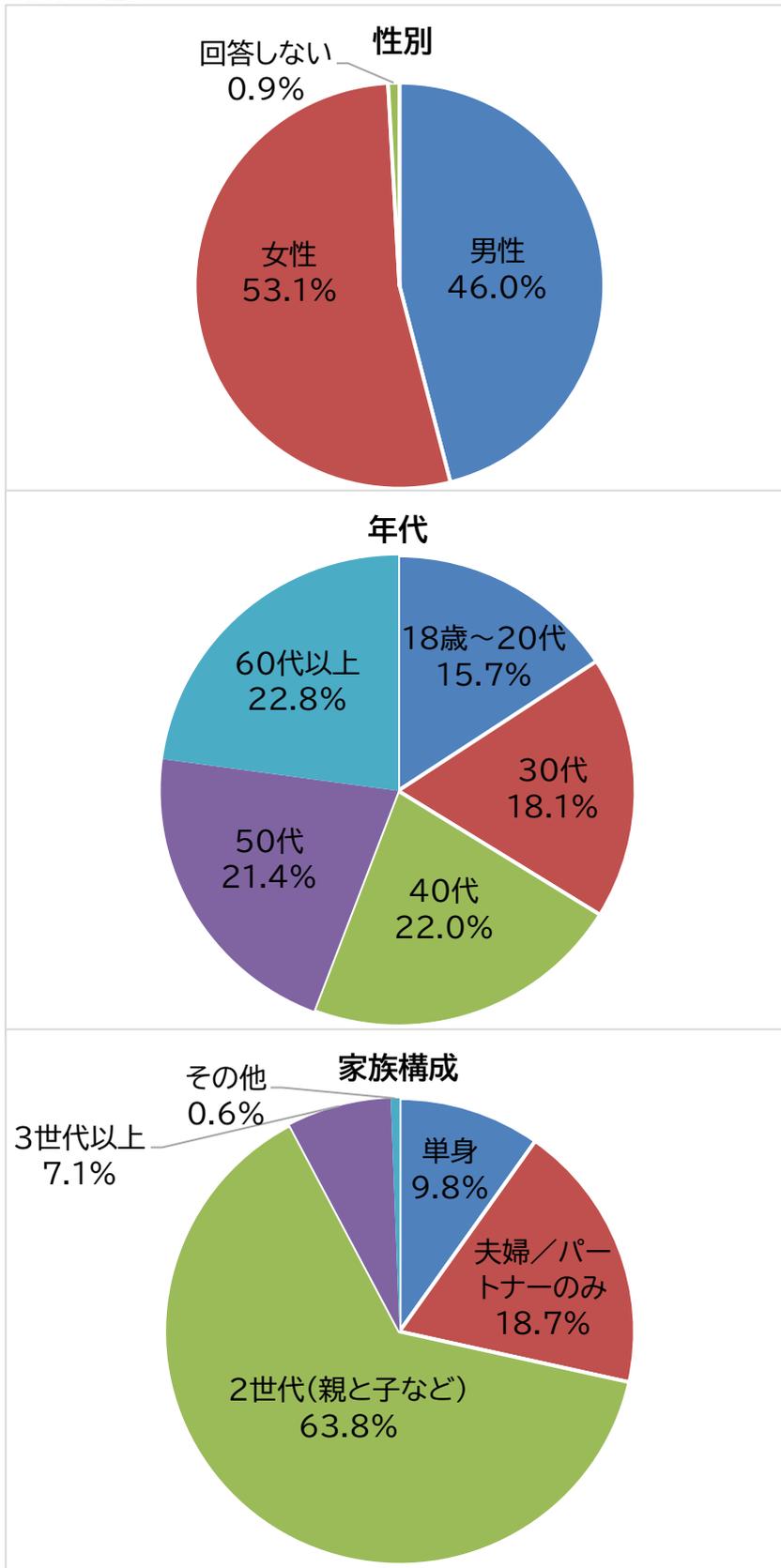


令和7年度 とよはしインターネットモニターアンケート調査結果

テーマ 「広聴事業についてのアンケート調査」
調査期間 令和8年2月6日（金）～令和8年2月20日（金）
回答者数 337人
対象モニター数 400人
回答率 84.3%

※ 百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合の合計が100%にならない場合があります。

【属性】



概 要

1. 市政への市民の声の反映について

「反映されている」、「どちらかといえば反映されている」と回答した方の割合が約 32%、「どちらかといえば反映されていない」、「反映されていない」と回答した方の割合が約 40%となり、市民の声が十分に市政に反映されていないと感じている方の方が多い結果となりました。

また、反映されていないと思う理由として、「市民の意見に対して、どのように対応しているかわからないから」が最も多く、次いで「市民が意見を伝える手段が周知されていないから」、「市民が意見を伝える手段が確保されていないから」と続きました。

2. 市政に関する意見等を伝えやすいと思う方法について

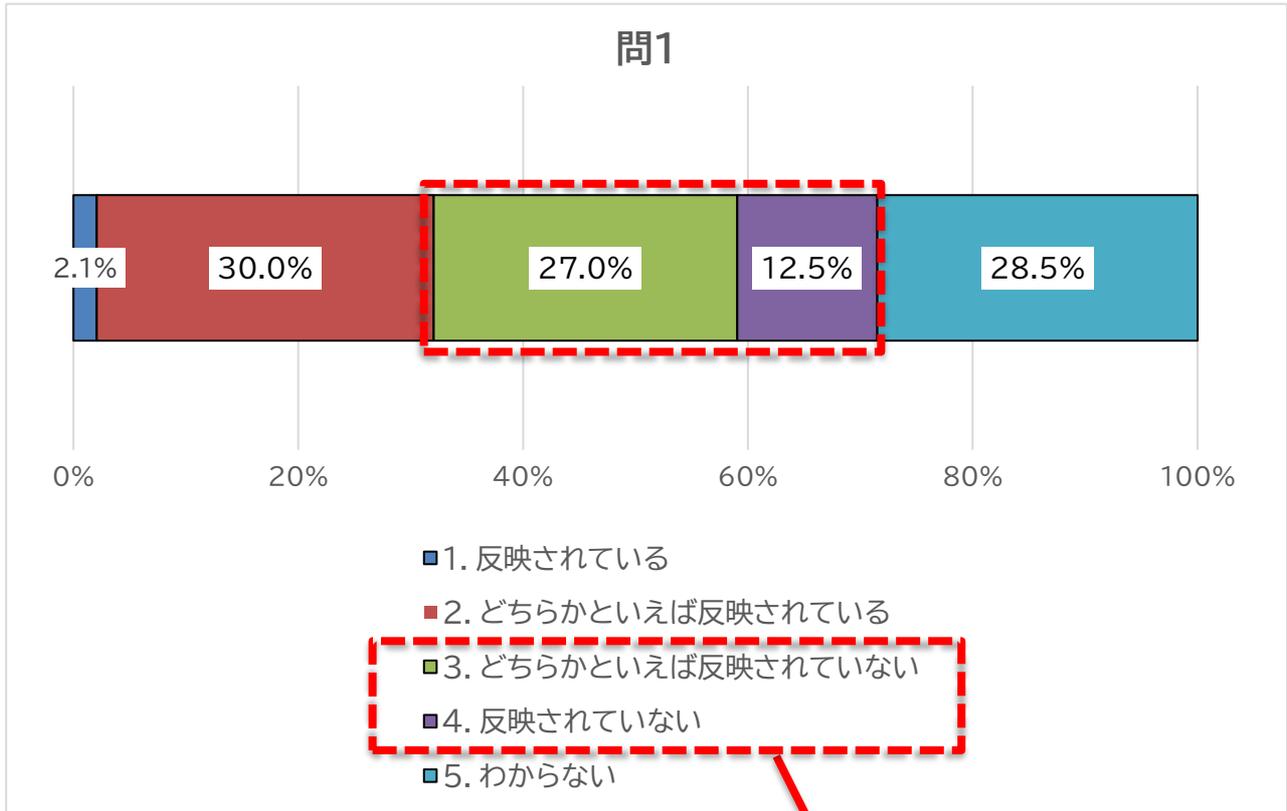
意見を伝える手段として、「メール」、「各種アンケートなど」、「市民の声全般を受け付ける窓口(市長への手紙や市民のメールボックスなど)」が上位となり、「手紙・はがき」や「担当部署の窓口を訪問」といった手段よりも利用しやすいと感じていることが分かりました。

3. 市長と市民が直接対話する機会への参加について

「直接対話まではしたくないが、傍聴はしてみたい」という回答が最も多く、「テーマを設定して開催される市内全域を対象とした懇談会」や「小学校区単位など地域ごとに開催される懇談会」という回答が続きました。傍聴への意欲が高く、また、開催する場合は市内全域や小学校単位など、広い単位での開催が望まれていることが分かりました。

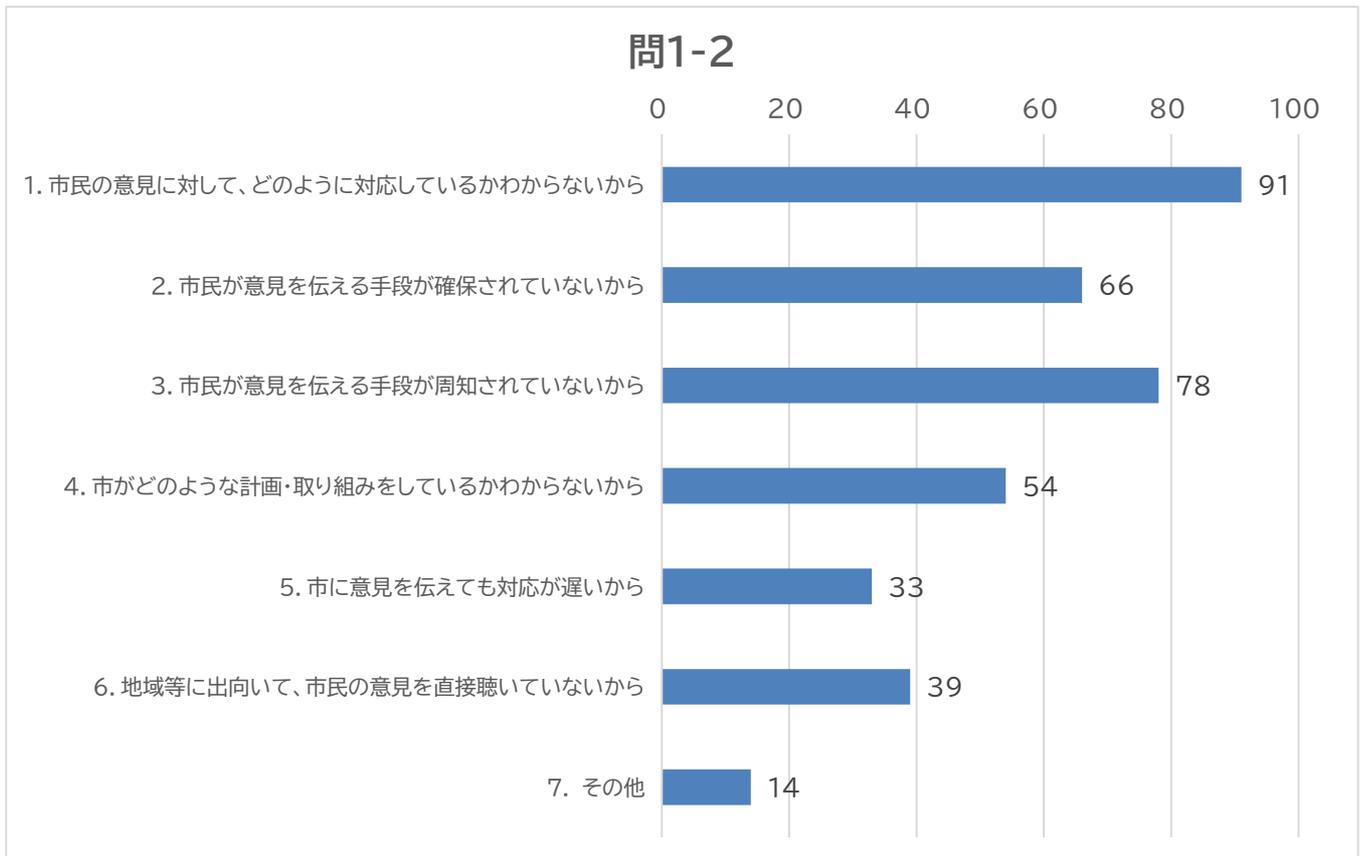
【問1】 あなたは市民の声が十分に市政に反映されていると思いますか。

【あてはまるものを1つ選択】(n=337)



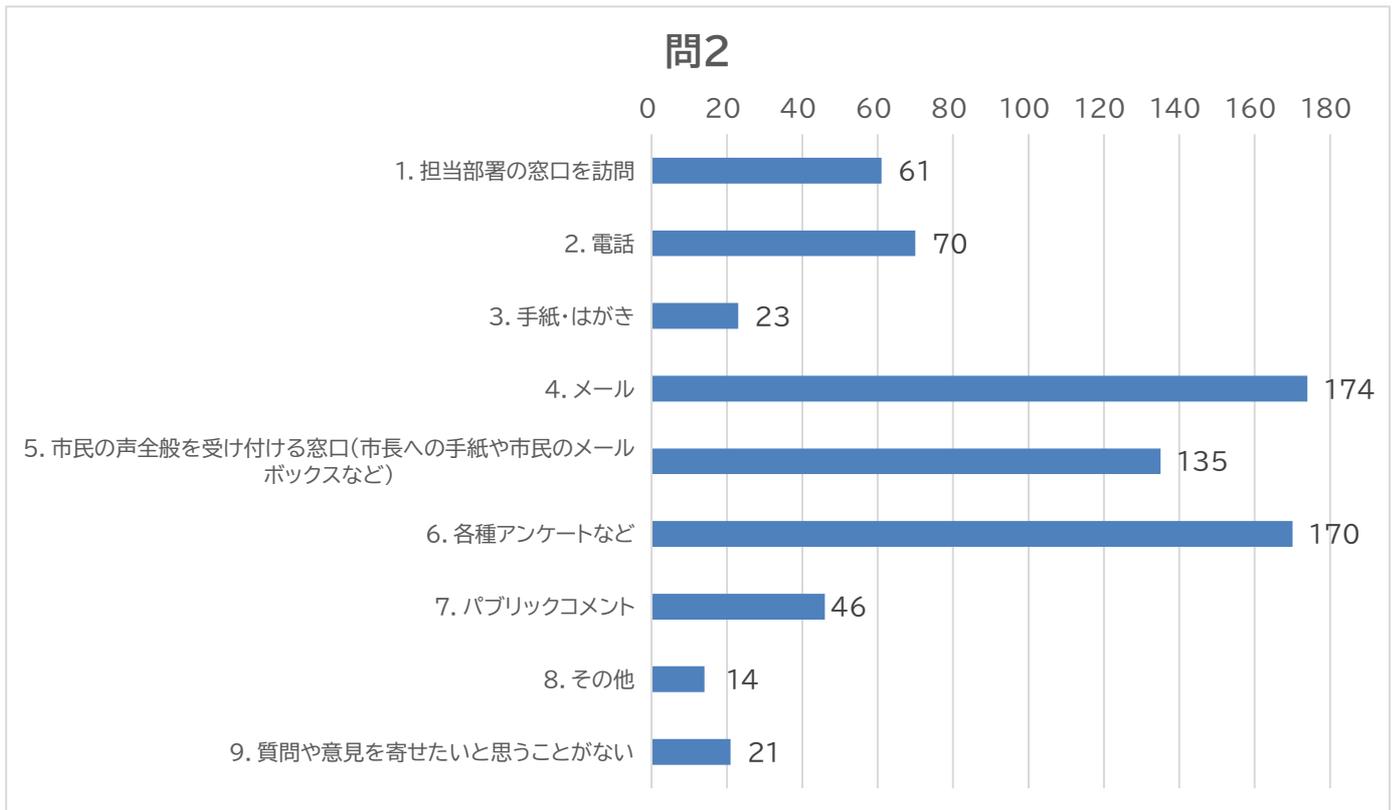
【問1-2】 【問1】で「3. どちらかといえば反映されていない」、「4. 反映されていない」と回答した方に伺います。そう思う理由は何ですか。

【あてはまるものをすべて選択】



【問2】 あなたが市政に関する質問や意見を寄せたいとき、伝えやすいと思う方法はどれですか。

【あてはまるものをすべて選択】



【問3】 市政について市長と市民が直接対話することのできる機会があるとしたら、どのような場に参加したいと思いますか。

【あてはまるものをすべて選択】

